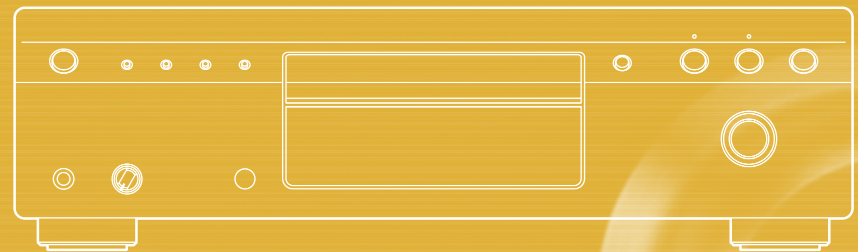
SONY

4-000-691-02(2)

SEC 4 SA-CD HYBRID



AMS

PUSH ENTER

スーパーオーディオCDプレーヤー

# SCD-XA5400ES

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。


よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support

**使い方相談窓口**
フリーダイヤル················0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話··· 0466-31-2511

**修理相談窓口**
フリーダイヤル················0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話··· 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「306」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

**FAX**（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1










Printed in Malaysia



# 使用上のご注意

## 設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）
- 機器を水滴や飛沫のかかる場所に置かないこと。
- 機器を本箱やキャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しない。
- 機器上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないこと。

## 付属の電源コードセットについて

付属の電源コードセットは、本機専用です。
他の電気機器では使用できません。

## 音量を調節するときは

スーパーオーディオCDはCDと比べ、可聴帯域を超える高域成分の出力が可能です。不用意に音量を上げてしまうと、音が聞こえないにもかかわらず、ノイズが発生したりアンプの保護回路が働いたり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。
再生を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

## ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。




## 結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。

結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約1時間放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

## 本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

## クリーニングディスクについて

市販のレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

## 本体を持ち運ぶときは

- 入っているディスクは、必ず取り出しておいてください。
- 必ずディスクトレイを閉めた状態にしておいてください。
- 必ず接続コードをはずしてください。特にXLR（バランス）コードをつないだまま持ち運ぶと、機器を破損するおそれがあります。

## ディスクを入れたときは

本体から発信音や機械音が聞こえることがあります。これは、各ディスクに合わせて本体内部のサーボが自動調節を行ったときに出す音です。

**ご注意**

スーパーオーディオ CD プレーヤーは、ディスクをローディングしてから再生が始まるまでの時間が、一般的な CD プレーヤーより長くかかることがありますが、故障ではありません。
これは、ディスクの種類の判別、サーボ調整、著作権保護の確認などを、再生するディスクごとに本体内部で自動的に行っているためです。

# 目次



## 準備する



## 再生する



## その他の情報

# 本機の特長

## スーパーオーディオCDの再生に対応

本機は、スーパーオーディオ2チャンネルとマルチチャンネル、および現行のCDの再生に対応しています。

- スーパーオーディオCDと現行CDのディスク信号の読み取りに、各々の専用波長のレーザーを持つ、ディスクリートデュアルレーザー光学ピックアップを搭載しています。
- 先進のサーボメカニズムにより、ディスクの情報を高精度に読み取ります。
- スーパーオーディオD/Aコンバーターの採用で、より高音質の音楽再生を実現しています。
- スーパーオーディオCDでは、最大255曲までのトラック/インデックス番号の収録が可能です。本機はこのフォーマットに対応しています。

## HDMIを使ったデジタル伝送が可能

これまで6本の接続コードが必要だったマルチチャンネル音声の接続が、HDMIケーブル1本のみでつなぐことができ、より高音質でお楽しみいただけます。

## H.A.T.S.（High quality digital Audio Transmission System）対応

- H.A.T.S.機能に対応しているソニーのAVアンプTA-DA5400ESとHDMIでつなぐと、高音質を楽しめます。
- H.A.T.S.機能は本機とAVアンプをHDMIでつないだときのみ有効です。

### H.A.T.S.機能とは

H.A.T.S.とは、HDMI機器間のジッター（信号を読み取るタイミングの時間軸のゆれ）の影響を排除して、高音質を実現するための特殊な機能です。H.A.T.S.に対応しているHDMI入力機器は、HDMI端子から入力されたデジタルオーディオ信号をバッファに蓄え、精度の高いタイミングでバッファから信号を読み出してアナログ信号に変換します。このため、デジタルオーディオ信号転送時に生じるジッターの影響を回避できます。

### H.A.T.S.機能についてのご注意

- H.A.T.S. 機能の仕様により、再生機器（本機）が再生を始めてからアンプから音が出力されるまで少し時間がかかることがあります。また、再生機器（本機）が再生を停止しても、アンプからはしばらく音が出力され、止まるまでに少し時間がかかることがあります。
- H.A.T.S. 機能は、H.A.T.S. 機能に対応する機器にのみ働きます。
- H.A.T.S. 機能の入 / 切は AV アンプで設定します。本機に設定はありません。
- 本機と対応機器は直接 HDMI ケーブルでつないでください。他の機器を経由した接続では H.A.T.S. 機能は使えません。

# 再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。
- スーパーオーディオCD
- CD
- DSDディスク

以下のディスクは本機では再生できません。
- CD-ROM（MP3、JPEGなど）
- DVD
- DTS-CD
- DualDisc

など
CD-ROMやDVDを入れると、エラーメッセージ「Cannot Play」や「No Disc」が表示されたり、再生しても音が出なかったりします。
DTS-CDとDualDiscについては、それぞれ下記のご注意をご覧ください。

### CD再生時のご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中には CD 規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

### CD-R/CD-RW再生時のご注意

CD-R/CD-RW ドライブで録音されたディスクには、傷や汚れ、また録音状態や録音機の特性等が原因で、再生できないものがあります。また、すべての録音終了時に録音の終わりを記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。このとき「Reading」が表示されたままだったり、「Cannot Play」が表示されます。

### DTS-CDについてのご注意

DTS 信号は DIGITAL OUT（CD）端子からのみ出力されます。出力された DTS 信号は DTS 対応のデジタル機器でデコードして聞くことができます。

### DualDiscについてのご注意

DualDisc とは DVD 規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）の規格には準拠していないため、本機での再生は保証いたしません。

### DSDディスクについてのご注意

DSD ディスクとは、DSF ファイルフォーマットにより記録されたディスクのことです。
本機では個人で DVD-ROM 互換のある DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW に記録した DSF ファイルを再生できます。
詳しくは 20 ページをご覧ください。

# スーパーオーディオ CD について

スーパーオーディオCDとは、現行のCDなどに用いられているPCM方式とは異なるDSD（ダイレクトストリームデジタル）方式で記録された、新しい高音質オーディオディスクの規格です。DSD方式は、CDの64倍にあたるサンプリング周波数で、1ビットの量子化の採用により、現行のCDをはるかに超える広い再生帯域と可聴帯域における十分なダイナミックレンジを確保し、原音をより忠実に再現します。

## スーパーオーディオCDディスクの種類

スーパーオーディオCDには、2種類のディスクがあります。

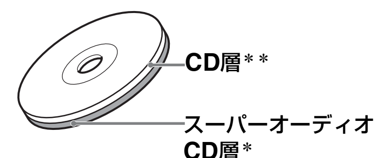
### シングルレイヤーディスク

スーパーオーディオCD層*の単層ディスクです。




### ハイブリッドディスク

スーパーオーディオCD層とCD層**の2層のディスクです。お聞きになりたい層を選べます。片面読み出しなので、ディスクを裏返す必要はありません。
CD層の内容は通常のCDプレーヤーでも再生できます。




＊　スーパーオーディオ CD の高密度信号で記録された層。
＊＊既存の CD プレーヤーで読み取り可能な層。

## スーパーオーディオCDの記録エリア

スーパーオーディオCD層には、2種類の記録エリアがあります。

### 2チャンネルエリア

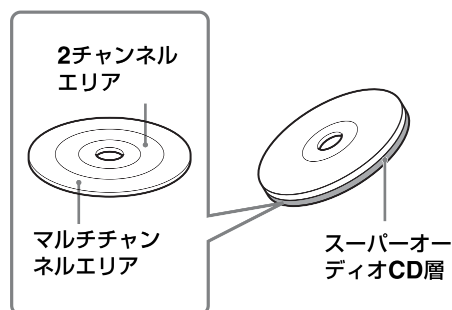
2チャンネルのステレオ用トラックを記録したエリアです。

### マルチチャンネルエリア

5.1チャンネルまでのマルチチャンネルトラックを記録したエリアです。

**スーパーオーディオCD層に2チャンネルエリアとマルチチャンネルエリアの両方が記録されているディスク**

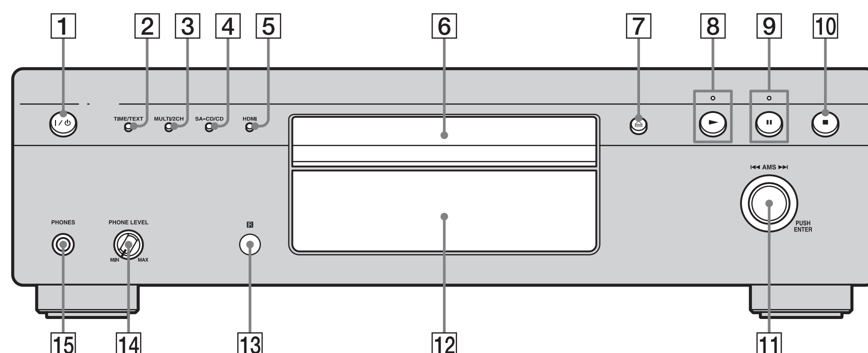
両方のエリアが記録されているディスクの場合、本機では優先して再生するエリアを設定できます（19ページ）。ディスクによって再生するエリアを切り換えることもできます（20ページ）。



# 各部のなまえとはたらき

各部のはたらきについて詳しくは、名称のあとの（　）内のページをご覧ください。
この取扱説明書では、主に本体での操作のしかたを説明しています。リモコンでも、本体と同じ表示のボタンを使って、同様に操作できます。

## 本体前面




1 **I/⏻（電源）スイッチ（15ページ）**
本機の電源を入切します。

2 **TIME/TEXTボタン（16ページ）**
押すたびに、曲の再生時間やディスク全体の残り時間、TEXT情報を表示します。

3 **MULTI/2CHボタン（20ページ）**
2チャンネルエリアとマルチチャンネルエリアの両方が記録されているディスク（6ページ）の、マルチチャンネルエリアと2チャンネルエリアを切り換えます。

4 **SA-CD/CDボタン（19ページ）**
ハイブリッドディスクの、スーパーオーディオCD層の再生とCD層の再生を切り換えます。

5 **HDMIボタン/ランプ（15ページ）**
HDMI端子から音声を出力する、しないを設定します。
ランプ点灯時は、HDMI OUT端子から音声が出力されます。
ランプ消灯時は、ANALOG OUT端子とDIGITAL OUT（CD）端子から音声が出力されます。

6 **ディスクトレイ（15ページ）**
ディスクを置きます。

7 **≜ボタン（15ページ）**
ディスクトレイを開閉します。

8 **►ボタンとランプ（15ページ）**
ディスクを再生します。ランプは再生中に点灯します。

9 **❚❚ボタンとランプ（15ページ）**
再生を一時停止します。ランプは再生一時停止中に点灯します。

10 **■ボタン（15ページ）**
再生を停止します。

11 **I◄◄ AMS►►Iダイヤル（AMS:頭出し）（15ページ）**
回して聞きたい曲を選びます。押すと選んだ曲の再生が開始されます。

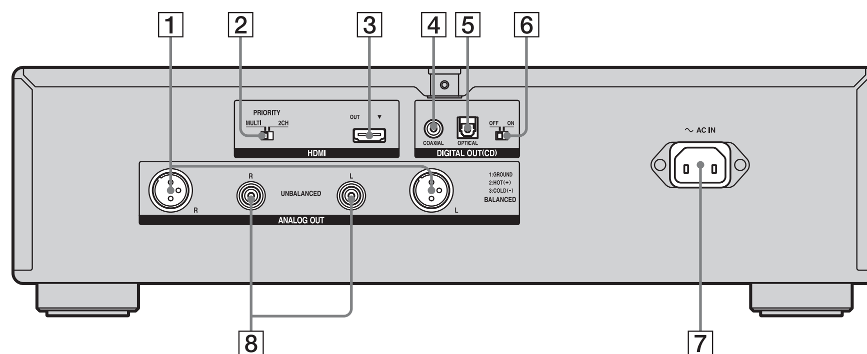
12 **表示窓（16ページ）**
ディスクや再生中の曲に関する情報を表示します。

13 **リモコン受光部(9ページ)**
リモコンからの信号を受信します。

14 **PHONE LEVEL**
ヘッドホンの音量を調節します。

15 **PHONES端子**
ヘッドホンをつなぎます。

## 本体後面




1 **ANALOG OUT BALANCED L/R端子（10ページ）**
ステレオアンプなど、XLR入力端子がある機器にXLR（バランス）コード（別売り）でつなぎます。

2 **HDMI PRIORITY MULTI/2CHスイッチ （14ページ）**
マルチチャンネルと2チャンネルの両方のエリアが記録されているスーパーオーディオCDの、優先して再生するエリアを設定します。

3 **HDMI OUT端子（11ページ）**
HDMI対応アンプなど、HDMI端子がある機器につなぎます。

4 **DIGITAL OUT (CD) COAXIAL端子（11ページ）**
MDデッキなど、同軸デジタル入力端子がある機器につなぎます。

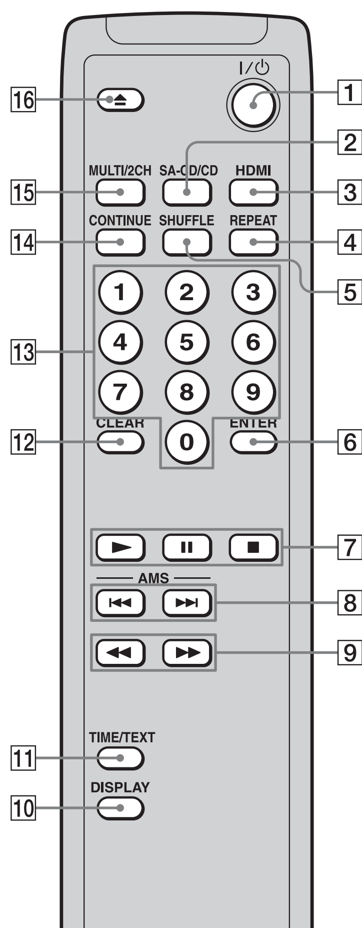
5 **DIGITAL OUT (CD) OPTICAL端子（12ページ）**
MDデッキなど、光デジタル入力端子がある機器につなぎます。

6 **DIGITAL OUT (CD) ON/OFFスイッチ（13ページ）**
DIGITAL OUT (CD) COAXIAL/OPTICAL端子から音声を出力する、しないを設定します。

7 **AC IN端子（12ページ）**
付属の電源コードをつなぎます。

8 **ANALOG OUT UNBALANCED L/R端子（10ページ）**
ステレオアンプなど、アナログ入力端子がある機器にオーディオコードでつなぎます。

## リモコン




1 **I/⏻（電源）スイッチ（15ページ）**
本機の電源を入切します。

2 **SA-CD/CDボタン（19ページ）**
ハイブリッドディスクの、スーパーオーディオCD層の再生とCD層の再生を切り換えます。

3 **HDMIボタン（15ページ）**
HDMI OUT端子から音声を出力する、しないを設定します。

4 **REPEATボタン（18ページ）**
リピート再生をします。

5 **SHUFFLEボタン（19ページ）**
シャッフル再生をします。

6 **ENTERボタン（17ページ）**
ダイレクト選曲を行います。

7 **►ボタン（15ページ）**
**❚❚ボタン（15ページ）**
**■ボタン（15ページ）**
再生、再生一時停止、再生停止をします。

8 **AMS⏮/⏭（AMS:頭出し）ボタン（15ページ）**
押して聞きたい曲を選びます。

9 **◄◄/►►ボタン（15ページ）**
再生中に押すと早送り/早戻しします。

10 **DISPLAYボタン（16ページ）**
表示を消したり、つけたりします。

11 **TIME/TEXTボタン（16ページ）**
押すたびに、曲の再生時間やディスク全体の残り時間、TEXT情報を表示します。

12 **CLEARボタン（18、19ページ）**
リピート再生中やシャッフル再生中に押すと、ふつうの再生に戻ります。

13 **数字ボタン（17ページ）**
ダイレクト選曲を行います。

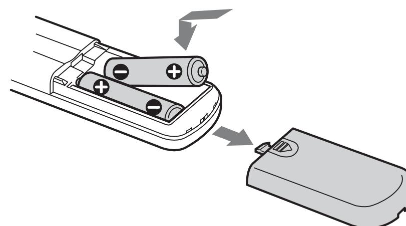
14 **CONTINUEボタン（18、19ページ）**
シャッフル再生中に押すと、ふつうの再生に戻ります。

15 **MULTI/2CHボタン（20ページ）**
2チャンネルエリアとマルチチャンネルエリアの両方が記録されているディスク（6ページ）の、マルチチャンネルエリアと2チャンネルエリアを切り換えます。

16 **⏏ボタン（15ページ）**
ディスクトレイを開閉します。

### リモコンに電池を入れる

付属の単3形乾電池2個を、イラストのように⊕と⊖の向きを正しく入れてください。リモコンを使うときは、本機のリモコン受光部🅁に向けてください。



**ちょっと一言**

電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

**ご注意**

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  – 高温、多湿のところに放置しないでください。
  – 電池交換時などに、電池ケースに異物を入れないでください。
  – ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  – 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  – 乾電池は充電しないでください。
  – 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  – 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部🅁に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンが操作できないことがあります。

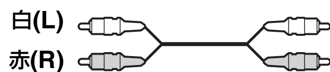
# アナログ機器につなぐ

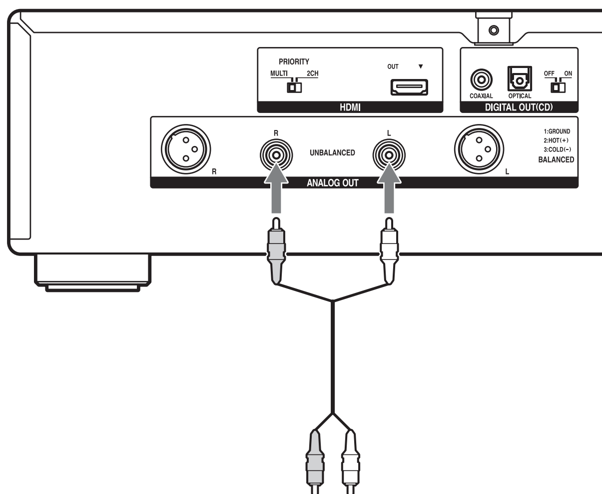
本機をステレオアンプやMDデッキのアナログ機器につなぐときは、ANALOG OUT端子につなぎます。接続には、オーディオ接続コード（付属）またはXLR（バランス）コード（別売り）を使います。
つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。
また、つなぐ前に機器の電源を必ず切ってください。

## アナログ入力端子がある機器につなぐ

付属のオーディオ接続コードを使います。白（L）端子には白プラグを、赤（R）端子には赤プラグをつなぎます。

**オーディオ接続コード（付属）**



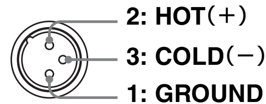

ステレオアンプやMDデッキなどのCD（またはスーパーオーディオCD）入力端子またはアナログ入力端子（L/R）へ

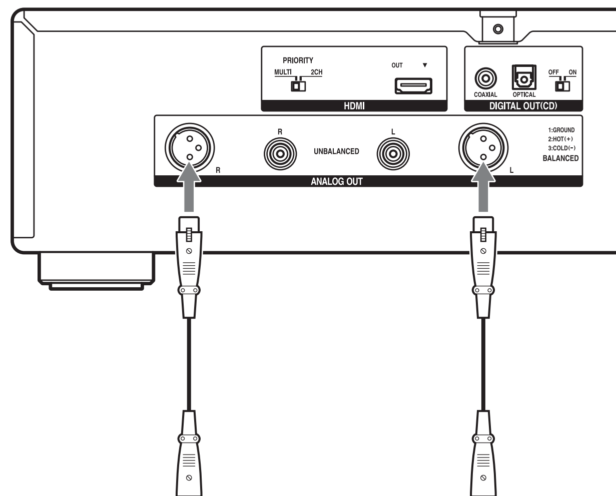
## バランス端子がある機器につなぐ

XLR（バランス）コード（別売り）を使います。

**XLR（バランス）コード（別売り）**






ステレオアンプなどのXLR入力端子（L/R）へ

**ご注意**

XLR（バランス）コードはロックされているため、引くだけでは抜けません。つないだまま持ち運ぶと、機器を破損するおそれがあります。必ず抜いてから、持ち運びしてください。

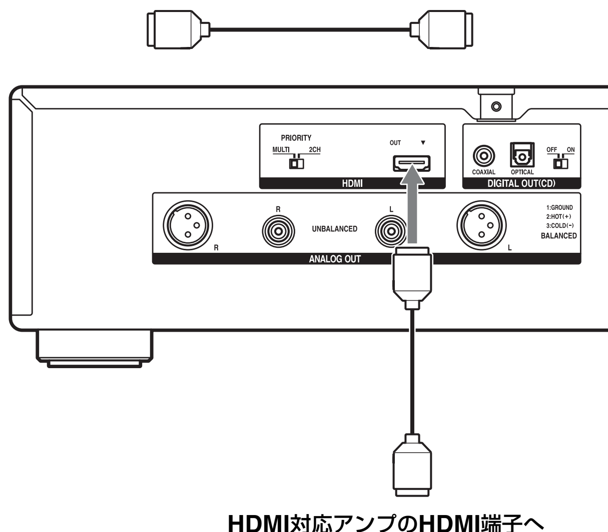
# デジタル機器につなぐ

本機をHDMI入力端子があるアンプとつなぐときは、HDMI端子につなぎます。また、本機をMDデッキなどのデジタル機器につなぐときは、DIGITAL OUT（CD）端子につなぎます。
つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。
また、つなぐ前に機器の電源を必ず切ってください。

## HDMI端子がある機器につなぐ

本機のHDMI OUT端子をHDMI入力端子のあるアンプとつなぐと、スーパーオーディオCDとCDの音声信号をデジタル伝送できます。
またHDMI入力端子のあるマルチチャンネルAVアンプとつなぐと、スーパーオーディオCDのマルチチャンネル再生を楽しむことができます。
HDMI端子から出力される音声フォーマットは、つないだ機器のHDMI性能や再生するディスクにより異なります。
接続にはHDMIケーブル（別売り）を使います。

**HDMIケーブル（別売り）**

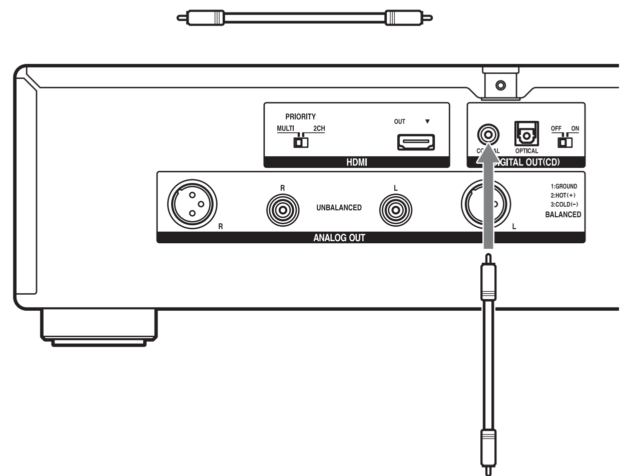



**HDMI対応アンプのHDMI端子へ**

## 同軸デジタル入力端子があるデジタル機器につなぐ

同軸デジタル接続コードを使用して、DIGITAL OUT (CD) COAXIAL端子につなぎます。

**同軸デジタル接続コード（別売り）**




**MDデッキなどの同軸デジタル入力端子へ**

準備する

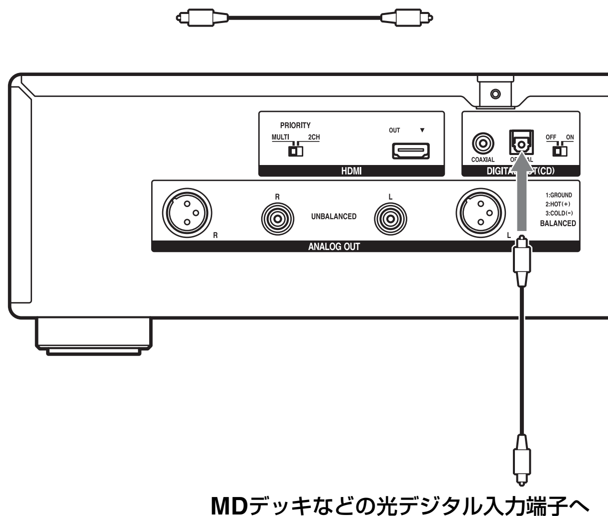
**ご注意**
- 本機の HDMI 接続には、カテゴリー 2 ケーブルの使用を推奨します。
- 本機の HDMI 端子から出力される映像信号は青画面のみです。他の映像信号は出力されません。
- つないだ機器の HDMI 性能（対応フォーマットの種類、サンプリング周波数、解像度、スーパーオーディオ CD などの著作権保護された信号を受けられるかどうか）によっては音声が出ない場合があります。そのときは表示窓の「HDMI」が点灯しません。
- DIGITAL OUT (CD) COAXIAL 端子からは CD の音声のみ出力されます。スーパーオーディオ CD の音声は出力されません。

つづく

## 光デジタル入力端子があるデジタル機器につなぐ

光デジタル接続コードを使用して、DIGITAL OUT (CD) OPTICAL端子につなぎます。
光デジタル接続コードのプラグをカチッと音がするまでまっすぐに差し込みます。光デジタル接続コードは折り曲げたり、ねじらないようにしてください。

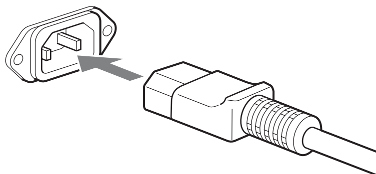
**光デジタル接続コード（別売り）**




**MDデッキなどの光デジタル入力端子へ**

## 電源コードをつなぐ

付属の電源コードを本体後面のAC IN端子につなぎ、プラグを壁のコンセントに差し込みます。



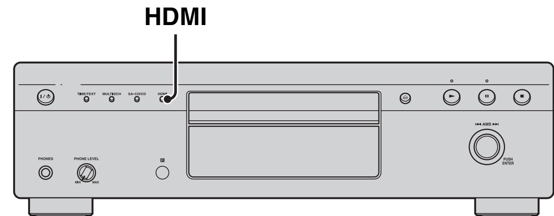
本機後面に電源コードを奥まで差し込んでも、プラグと本機後面の間に数ミリのすき間ができますが、これで正しくつながれています。
電源コードをつないだときに、本機の電源を入れていなくてもリレーの動作音が聞こえることがあります。これは内部の状態を確認するために短時間、回路が動作しているためです。ご使用に影響はありません。

# 出力信号を設定する

## HDMI信号の出力を設定する

HDMI OUT端子からの出力の入/切を設定します。

**HDMI**



### HDMI ボタンを押す。

押すたびにHDMI OUT端子からの出力の入/切が切り換わります。

HDMI OFFモード：HDMI OUT端子から音声は出力されません。表示窓に「HDMI OFF」が表示されます。ANALOG OUT端子、PHONES端子、DIGITAL OUT（CD）端子から音声が出力されます。出荷時はOFFモードに設定されています。

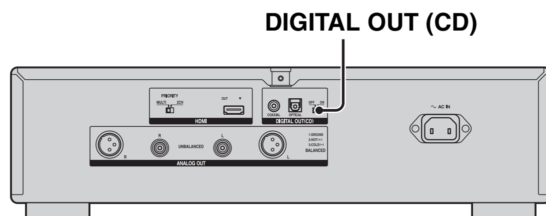
HDMI ONモード：HDMI OUT端子から音声が出力されます。HDMIボタンが緑色に点灯し、表示窓に「HDMI ON」が表示されます。

**ご注意**

- DIGITAL OUT (CD) OPTICAL 端子からは CD の音声のみ出力されます。スーパーオーディオ CD の音声は出力されません。
- 不具合が起きたとき、すぐにコンセントから電源コードを抜ける場所に本機を設置してください。
- HDMI ボタンは、ディスク再生を停止中に操作してください。
- HDMI ボタンは、ディスクトレイが閉じている状態で操作してください。

## CDのデジタル信号（COAXIAL/OPTICAL）の出力を設定する

DIGITAL OUT（CD）端子からの出力の入/切を設定します。
HDMIボタンが「HDMI OFFモード」のときに、設定は有効です。「HDMI ONモード」のときは、設定にかかわらずDIGITAL OUT（CD）端子から音声は出力されません。




**DIGITAL OUT (CD) スイッチを切り換える。**

ON：DIGITAL OUT（CD）端子から音声が出力されます。出荷時はONに設定されています。
OFF：DIGITAL OUT（CD）端子から音声は出力されません。ANALOG OUT端子、PHONES端子から音声が出力されます。

## 出力端子と出力信号について

各出力端子から出力される信号は、HDMIボタンや本体後面のDIGITAL OUT (CD)スイッチの設定によって、異なります。

### スーパーオーディオCD、CDの2チャンネル音声

○：出力される
×：出力されない

| | | 出力端子 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **HDMIボタンの設定** | **DIGITAL OUT (CD) スイッチの設定** | ANALOG OUT | PHONES（前面） | DIGITAL OUT (CD) | HDMI OUT |
| OFF | ON | ○ | ○ | CD：○<br>スーパーオーディオCD：× | × |
| | OFF | ○ | ○ | × | × |
| ON | ON | × | × | × | ○ |
| | OFF | | | | |

### スーパーオーディオCDのマルチチャンネル音声

○：出力される
×：出力されない

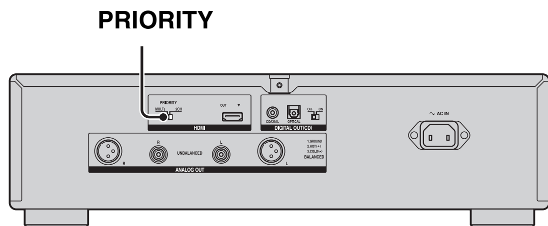
| | 出力端子 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **HDMIボタンの設定** | ANALOG OUT | PHONES（前面） | DIGITAL OUT (CD) | HDMI OUT |
| OFF | ×＊ | ×＊ | ×＊ | ×＊ |
| ON | × | × | × | ○ |

＊マルチチャンネルエリアは再生されません。

**ご注意**
再生中に DIGITAL OUT（CD）ON/OFF の切り換えを行うと、ANALOG OUT 端子からの出力も 3 秒程度途切れます。

# スーパーオーディオ CD の優先再生エリアを設定する

2チャンネルエリアとマルチチャンネルエリアが記録されているディスク（6ページ）を再生し、HDMIで出力する場合、優先して再生されるエリアを設定します。HDMIボタンが「HDMI ONモード」のときに有効です。



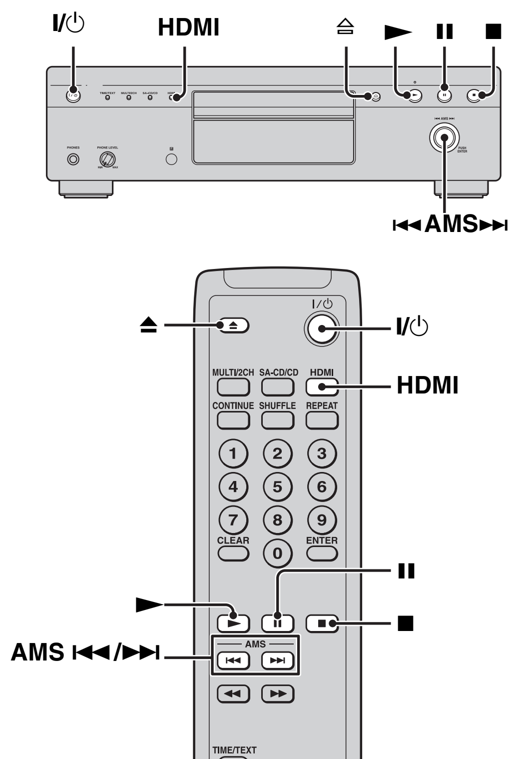

## PRIORITY スイッチを切り換える。

2CH：2チャンネルエリアが優先して再生されます。
出荷時は2CHに設定されています。

MULTI：マルチチャンネルエリアが優先して再生されます。

# ディスクを再生する

基本的な再生操作について説明します。

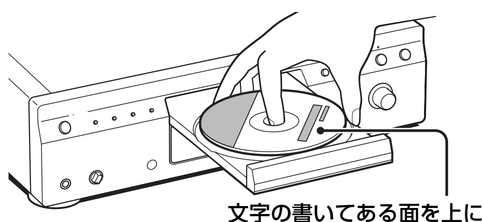



**1** アンプの電源を入れ、アンプのボリュームを最小にする。

**2** アンプの入力切り換えで本機をつないだ機器の入力を選ぶ。

**3** 本機の I/⏻（電源）スイッチを押して電源を入れる。

**4** ⏏を押してディスクトレイを開け、ディスクを置く。




**5** ► を押す。

1曲目から再生が始まります。途中の曲から再生を始めたいときは、►を押す前にI◄◄ AMS►►Iダイヤルを回し、曲番を選んでおいてください。

**6** アンプで音量を調節する。

### 再生中の基本操作

| 操作 | 使うボタン |
| --- | --- |
| 再生を止める | ■ |
| 再生を一時停止する | II |
| 一時停止した再生を再開する | IIまたは► |
| 曲を選ぶ | I◄◄ AMS►►Iダイヤルを回す。 |
| ディスクを取り出す | ⏏ |

### HDMI端子から音声を出力するには

停止中にHDMIボタンを押す（12ページ）。
HDMIボタンが点灯し、表示窓に「HDMI ON」が表示されます。

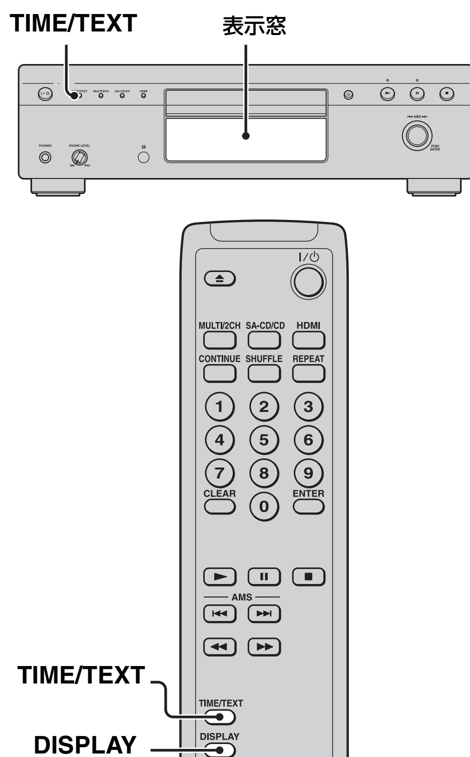
**ご注意**

再生時には、ボリュームを最小の状態から徐々にあげてください。本機で再生される音楽信号には可聴帯域外の成分が含まれており、スピーカーや耳にダメージを与えることがあります。

つづく

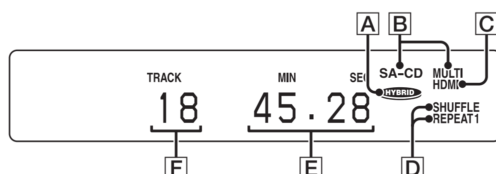
# 表示窓の見かた

表示窓には、ディスクや再生中の曲に関する情報が表示されます。本機の状態によって、表示される情報は変わります。




## ディスク装着時の表示

ディスクの総曲数や総再生時間が表示されます。




A ハイブリッドディスク表示
B ディスクの種類と再生チャンネルエリア
C HDMI 信号出力
D 再生モード
E 総再生時間
F 総曲数

## TEXTの情報を見る

音楽信号の他に、ディスク名やアーティスト名などの情報を記録させたものがTEXT付きディスクです。本機ではTEXT情報として、ディスク名やアーティスト名、再生中の曲名を見ることができます。
TEXTの情報が14文字以上のときは、1度スクロールし、その後は最初の14文字が表示されます。

### 停止中のTEXT表示

TIME/TEXTボタンをくり返し押す。
押すたびに、ディスク名またはアーティスト名が表示されます。アーティスト名の表示のときは「ART.」と表示されます。

ディスクのタイトル*




ディスクのアーティスト名*




ディスクの全曲数と総再生時間



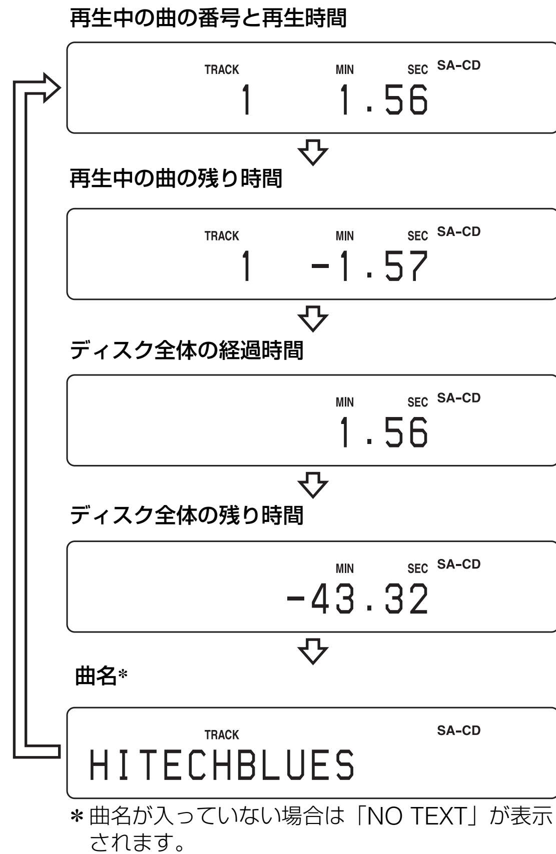

* ディスク名やアーティスト名などの情報がない場合は、「NO TEXT」が表示されます。

**ご注意**

- 本機で表示できる TEXT 情報は英数字のみです。日本語は表示されません。
- ディスクによっては、表示できない文字があります。
- 本機は TEXT 情報のうち、ディスク名やアーティスト名、曲名のみを表示します。その他の TEXT 情報は表示できません。

### 再生中のTEXT表示

TIME/TEXTボタンをくり返し押す。




＊曲名が入っていない場合は「NO TEXT」が表示されます。

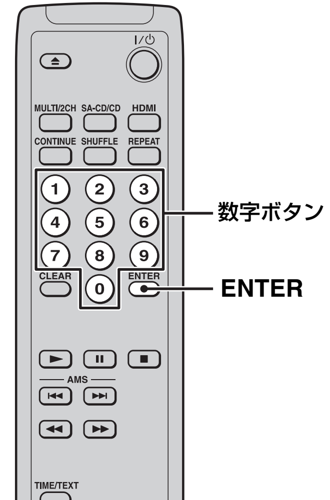
## 表示を消す

### 再生中に、リモコンの DISPLAY を押す。

押すたびに、表示が消えたりついたりします。
表示中にDISPLAYを押すと、「Display Off」が表示され、約2秒後に消えます。表示が消えているときにDISPLAYを押すと、「Display On」が表示され、約2秒後に表示が出ます。
停止中は、DISPLAYモードにかかわらず表示が出ます。

# 再生したい曲を探す（ダイレクト選曲）

再生を始める前に、曲を選ぶことができます。




### 曲番を数字ボタンで入力し、ENTER を押す。

| 例 | 押すボタン |
|---|---|
| 8曲目を選ぶとき | 8→ENTER |
| 21曲目を選ぶとき | 2→1→ENTER |
| 103曲目を選ぶとき | 1→0→3→ENTER |

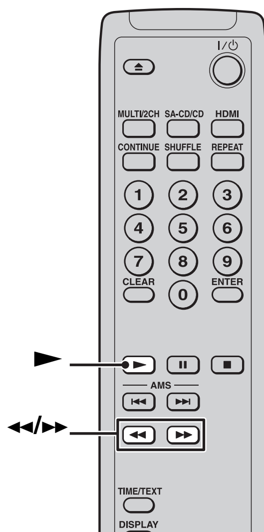
再生する

**ちょっと一言**

表示を消しているときに再生や一時停止などの操作をすると、約2 秒間表示がついて、その後再び消えます。

# 再生したい部分を探す（サーチ）

再生中に、曲の中の聞きたい部分を選ぶことができます。




### 再生中、リモコンの ◀◀/▶▶ を押す。

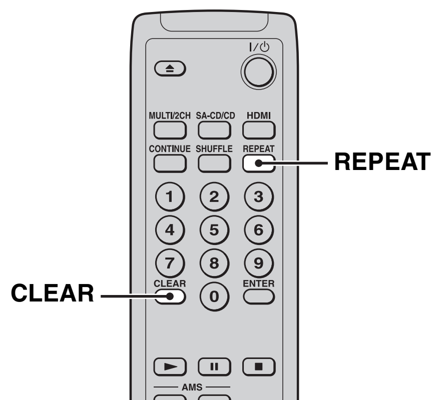
早送りするときは、▶▶を押します。早戻しするときは、◀◀を押します。押すたびに速さが2段階に変わります。

### 通常の再生に戻るには

▶を押す。

# くり返し再生する（リピート再生）

ディスクの全曲または1曲をくり返し再生します。
シャッフル再生（19ページ）を選んだ状態でも、くり返し順不同に再生できます。




### リモコンの REPEAT をくり返し押す。

押すたびに「REPEAT」と「REPEAT 1」が切り換わります。
選ばれている設定が表示窓に表示されます。
REPEAT：全曲をくり返し再生します。
シャッフル再生（19ページ）を選んでいるときは、くり返すたびに曲順が変わります。
REPEAT 1：1曲だけをくり返し再生します。

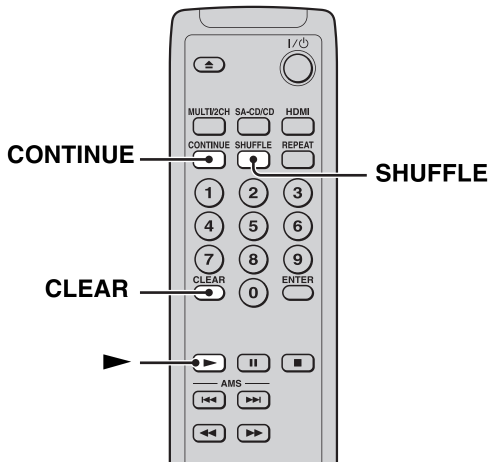
### リピート再生を解除するには

「REPEAT」や「REPEAT 1」が消えるまで、REPEATをくり返し押す。または、リモコンのCLEARを押す。

**ご注意**
- サーチ中に AMS は操作できません。
- リピート再生の設定は、本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりすると解除されます。

# ランダムに再生する(シャッフル再生)

順不同に全曲を1回ずつ再生します。




**1** 停止中に、リモコンの SHUFFLE を押す。

**2** リモコンの ► を押す。

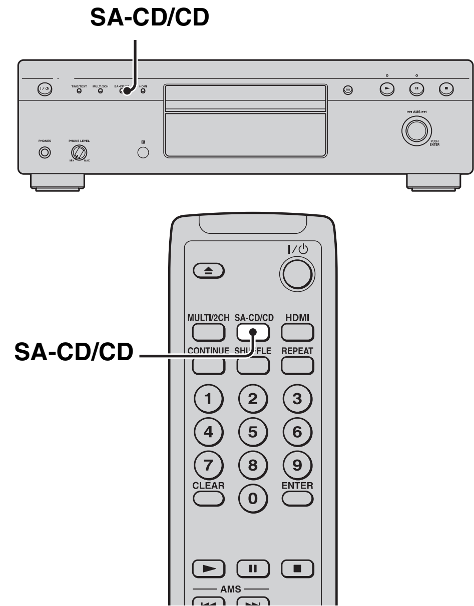
全曲を1回ずつ再生し終わると停止します。

### シャッフル再生を解除するには

リモコンのCLEARまたはCONTINUEを押す。

# スーパーオーディオ CD 層と CD 層を切り換える

スーパーオーディオCD層とCD層とが2層になったハイブリッドディスク(5ページ)の場合、本機はスーパーオーディオCD層が再生されるようになっています。以下の操作でCD層を選ぶことができます。




**停止中に、SA-CD/CD を押す。**

表示窓の「SA-CD」が「CD」に変わり、再生層がCD層に切り換わります。
もう一度、SA-CD/CDを押すと、スーパーオーディオCD層に切り換わります。
ディスクを入れ換えると、それまで選んでいた再生層はクリアされます。

**ご注意**

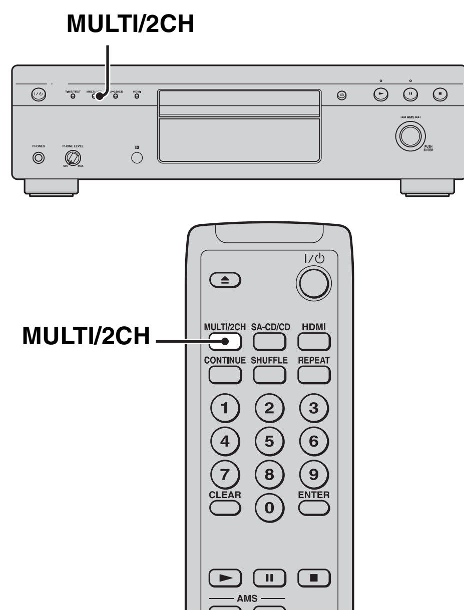
シャッフル再生の設定は、本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりすると解除されます。

**ちょっと一言**

スーパーオーディオ CD 層と CD 層の切り換えは、ディスクを裏返す必要はありません。

# スーパーオーディオ CD の再生エリアを切り換える

2チャンネルエリアとマルチチャンネルエリアの両方が記録されているディスク（6ページ）を再生する場合、聞きたいエリアを選ぶことができます。
HDMI ONモードのときのみ操作できます（12ページ）。




### 停止中に、MULTI/2CH を押す。

マルチチャンネルエリアが選ばれると、「MULTI」が表示窓に表示されます。
2チャンネルエリアが選ばれると、「MULTI」が消えます。

### マルチチャンネルスーパーオーディオCDを楽しむには

HDMI端子を使ってマルチチャンネルアンプにつなぎます。
スピーカーのバランスや距離などの再生環境は、つないだアンプで設定してください。

# DSD ディスクを再生する

本機では、個人でパソコンなどを使ってDSFファイルフォーマットで記録したディスクも再生できます。

### 再生できるDSFファイルの条件

以下の条件を満たさないDSFファイルは、本機で正しく再生できないことがあります。

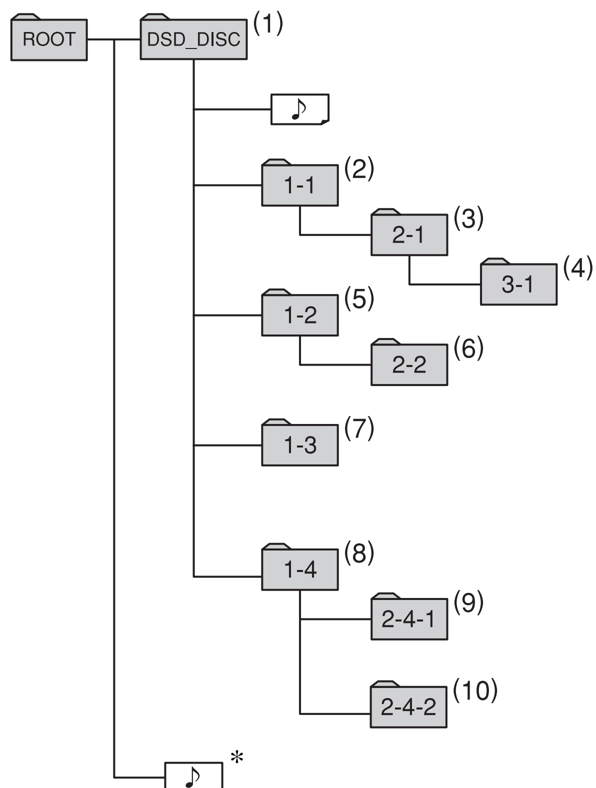
- ディスク：DVD-ROM互換性のあるDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW
- ファイルの拡張子：dsf
- フォルダーの種類：DSD_DISCフォルダー
- ひとつのファイルの最大容量：4GB以下
- 音声：2チャンネル
- ファイル数：1フォルダー内で最大150ファイルまで
- フォルダー数：1ディスク内で最大200フォルダーまで
- 階層：8階層まで
- サンプリング周波数：2.8224MHz

**ご注意**

- MULTI/2CH ボタンを使って再生するエリアを変更する場合は、現在入っているディスクのみに有効です。
- DSD ディスクの再生では、ファイルにアクセスするたびにパスを検索する必要があります。このため、ディスク内のフォルダー数が多かったり、フォルダー階層が深かったり、また、ひとつのフォルダー内のファイル数が多いと、ファイルへのアクセスに極端に時間がかかることがあります。このような場合は、DSF ファイルを DSD_DISC フォルダー内に直接入れることと、ファイル数を 20 ファイル以下にすることを推奨します。

### ディスク内のデイレクトリー構成の例

以下のように、（1）から（10）の順に、各フォルダー内のDSFファイルを再生します。フォルダーを再生する順番は、本機の表示窓の「ALBUM」に表示されます。また、ファイルを再生する順番は「TRACK」に表示されます。




＊ファイルに dsf の拡張子があっても DSD_DISC フォルダーに入っていない場合は再生しません。

### 再生について

DSFファイルの再生はスーパーオーディオCDやCDと同様に行えます。ただし、以下の操作はできません。

- ダイレクト選曲およびアルバムの選択
- シャッフル再生
- SA-CD/CDの切り換え
- MULTI/2CHの切り換え
- アルバムごとのリピート再生
- ディスクに入っているDSF以外のファイルの再生

### 表示について

再生中にTIME/TEXTボタンを押すと、以下が表示されます。

アルバム番号/トラック番号/トラック経過時間



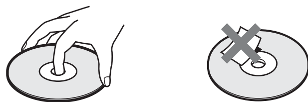
ファイル名

停止中は総アルバム数が表示されます。

# ディスクの取り扱い上のご注意

### 取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（再生面）に手を触れないように持ちます。
- 紙やシールを貼らないでください。



- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をしたディスクを使用しますと、本機の故障の原因となることがあります。
- 中古／レンタルCDなどでシールやのりが付着しているディスクは使用しないでください。

### 保存のしかた

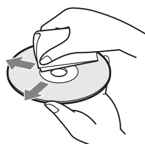
- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

### ディスクの置きかた

ディスクを入れるときは、確実にディスクトレイにのせてください。ディスクがずれていると、本機やディスクを破損する場合があります。

### お手入れのしかた

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽くふきます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布でふいた後、さらに乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

# 故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

### 再生が始まらない。

- → ディスクが入っているか確認してください。
- → 文字の書いてある面を上にしてディスクトレイにディスクを置いてください。
- → ディスクがななめに入っていないかなどを確認して、ディスクを正しい位置に置いてください。
- → ディスクが汚れていないか確認してください（22ページ）。
- → 結露しているので、ディスクを取り出して電源を入れたままの状態で約1時間放置し、再度電源を入れ直してから再生を始めてください（2ページ）。
- → 本機で再生できるディスクか確認してください（5ページ）。

### プレーヤーが自動でスタンバイ状態になる。

- → 他のHDMI機器とHDMIでつないでいる場合、ディスクが入っていない状態でHDMIボタンが「HDMI ONモード」に設定されているときに、HDMI機器の電源オフに連動して本機がスタンバイ状態になる場合があります。

### リモコンで操作できない。

- → リモコンと本体との間の障害物を取り除いてください。
- → 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- → リモコンの乾電池を交換してください。

### 音が出ない､途切れる。

- → 接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- → アンプを正しく操作しているか確認してください。

### ANALOG OUT端子から音が出ない。

- → HDMIをONにしているときは、ANALOG OUT端子、PHONES端子、DIGITAL OUT（CD）端子から音声 は出力されません（13ページ）。

### DIGITAL OUT(CD)端子から音が出ない。

- → スーパーオーディオCDの音声はDIGITAL OUT（CD）端子から出力されません（11ページ）。
- → HDMIをONにしているときは、ANALOG OUT端子、PHONES端子、DIGITAL OUT（CD）端子から音声 は出力されません（13ページ）。

- DIGITAL OUT（CD）スイッチをOFFにしているときは、DIGITAL OUT（CD）端子から音声は出力されません。

### HDMI OUT端子から音が出ない､途切れる。

- 接続するアンプのHDMI性能（11ページ）がスーパーオーディオCD再生に適していないと音が出ません。このとき、表示窓に「HDMI」が点灯しません。ハイブリッドディスクの場合はCD層を再生してください。
- スーパーオーディオCDを再生中にアンプに別のHDMIケーブルをつないだり、アンプ側で入力をHDMI端子接続に切り換えたりすると音が出なくなることがあります。表示窓に「Press Stop」が表示されている場合は、再生を停止させ、再度再生を始めてください。
- DVI（Digital Visual Interface）接続をしていると音が出ません。このとき、表示窓に「Connected DVI」が表示されます。
- アンプにTVなどの他のHDMI機器をつないでいると音が出ない場合があります。このとき、表示窓に「HDMI」が点灯しません。他のHDMI機器をアンプからはずしてください。
- HDMIケーブルをつないだ直後や、HDMIをONに設定した直後などでは、HDCP認証処理のために、音声が出るまでに時間がかかる場合があります。表示窓の「HDMI」が点灯するまでお待ちください。
- 一部のプロジェクターやテレビなどHDMIで接続された機器によっては、電源が切れているときにもHDMIの通信がリセットされる場合があります。このリセットが起きたとき、再度HDCP認証を行いますので音声が途切れることがあります。
- HDCP（High-bandwidth Content Protection system）非対応の機器をつないでいると音が出ません。このとき、表示窓に「HDMI」が点灯しません。
- H.A.T.S.対応アンプとつないでいる状態で、アンプ側のH.A.T.S.設定(ON/OFF)を切り換えると音声が一時的に途切れます。本機の故障ではありません。
- HDMI接続で音を聞いているときに、アンプの出力端子にTVなどのHDMI機器をつなぐと、一時的に音が途切れたり、つなぐ機器によっては音が出なくなる場合があります。本機の故障ではありません。

### HDMI OUT端子から映像が出力されない。

- 本機のHDMI OUT端子から出力される映像信号はNTSC方式の青画面です。他の映像信号は出力されません。

### 本機の「TIME/TEXTボタン」「MULTI/2CHボタン」「SA-CD/CDボタン」が点灯しない。

- 「TIME/TEXTボタン」「MULTI/2CHボタン」「SA-CD/CDボタン」は点灯しません。これらのボタンの状態は表示窓の中に表示されます。

### 音が出ず､「Unmatched Sink」と表示される。

- HDMI OUT端子につないでいる機器がスーパーオーディオCDの出力を受けることができません。ANALOG OUT端子につないでください。

### 音が出ず､「Press Stop」と表示される。

- HDMIボタンが「HDMI ONモード」に設定されているとき、スーパーオーディオCD 再生中に本機とアンプをつなぐと音が出なくなる場合があります。再生を停止させ、再度再生を始めてください。

### 音が出ず､「Connected DVI」と表示される。

- HDMI端子にDVI接続をしていると音が出ません。音声入力に対応しているHDMI機器とつないでください。

### これらの処置をしても正常に動作しないときは

上記の内容を確認しても問題が解決せず、正常に動作しないときや、上記以外の問題が発生したときは、一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、数分待ってから改めて電源コードを接続してください。

**ご注意**

電源を入れると、ディスクの種類の判別や調整のため、プレーヤー内からカタカタと音が聞こえることがありますが、故障ではありません。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合の悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社では、ステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

### 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

### ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型式：SCD-XA5400ES
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

# 主な仕様

### スーパーオーディオCD再生時

再生周波数範囲
2 Hz～100 kHz
周波数特性
2 Hz～50 kHz（−3 dB）
ダイナミックレンジ
110 dB以上
全高調波ひずみ率
0.0012%以下
ワウ・フラッター
測定限界値（±0.001% W. PEAK）以下

### CD再生時

周波数特性
2 Hz～20 kHz（±0.5 dB）*
ダイナミックレンジ
100 dB以上*
全高調波ひずみ率
0.0017%以下*
ワウ・フラッター
測定限界値（±0.001% W. PEAK）以下*
* JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。

### 出力端子

| 端子名 | 端子形状 | 出力レベル | 負荷インピーダンス |
|---|---|---|---|
| ANALOG OUT UN-BALANCED | ピンジャック | 2 Vrms（50 kΩ時） | 10 kΩ以上 |
| ANALOG OUT BALANCED | XLR | 2 Vrms（50 kΩ時） | 600 Ω以上 |
| HDMI | HDMI | | |
| DIGITAL OUT (CD) OPTICAL* | 角形光コネクタージャック | −18 dBm | （発光波長 660 nm） |
| DIGITAL OUT (CD) COAXIAL* | 同軸コネクタージャック | 0.5 Vp-p | 75 Ω |
| PHONES | ステレオ標準ジャック | 5 mW | 32 Ω |

* CD の音声のみ出力

### 電源・その他

電源　AC 100 V、50/60 Hz
消費電力　25 W
スタンバイモードの消費電力
0.5 W
最大外形寸法
430×124×390 mm（幅／高さ／奥行、最大突起部含む）
質量　約 10.2 kg

## 付属品

オーディオ接続コード
　　　　ピンプラグ×2（赤/白）（1）
リモートコマンダー
　　　　RM-ASU042（1）
電源コード（1）
乾電池　　単3形（R6）（2）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
保証書（1）

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 待機時消費電力　0.5W
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- 包装用緩衝材に紙材料を使用

# 索引

## あ行



## か行



## さ行



## た行



## は行



## ら行



## A-Z